

Hirata

平田機工株式会社

第64回定時株主総会



平田機工株式会社

第64期

事業報告

連結計算書類

計算書類

事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

企業集団の現況

当事業年度の事業の状況

事業の経過および成果

平成27年3月期の概況

● 世界の経済情勢

■ 米国

金融緩和政策からの転換が進められ、先行き不透明感が残る状況だが、雇用・所得環境の改善により個人消費主導の底堅い成長が持続

平成27年3月期の概況

- **世界の経済情勢**

- **欧州**

債務問題は残るが、ユーロ安を背景とする輸出の拡大など、欧米先進国を中心として緩やかな景気の回復が続く

平成27年3月期の概況

●世界の経済情勢

■中国などの新興国

個人消費は堅調だが、不動産投資が鈍化する中国など、成長率は緩やかに減速

平成27年3月期の概況

●国内経済

- 円安や原油安、政府の経済・金融政策などにより、輸出の持ち直しや在庫調整の進捗など、景気は緩やかな回復基調が続く

平成27年3月期の概況

●当社グループ

- 企業の設備投資は増加傾向だが、新規投資は慎重、厳しい状況で推移
- 中期経営計画「PLUS ONE 61」の最終年度として事業拡大が期待できる市場や分野へ注力

平成27年3月期の概況

- 当社グループ(グローバル)

- グループ各社との連携による営業活動を強化

- 現地調達・生産比率を高め、グローバル生産供給体制を強化

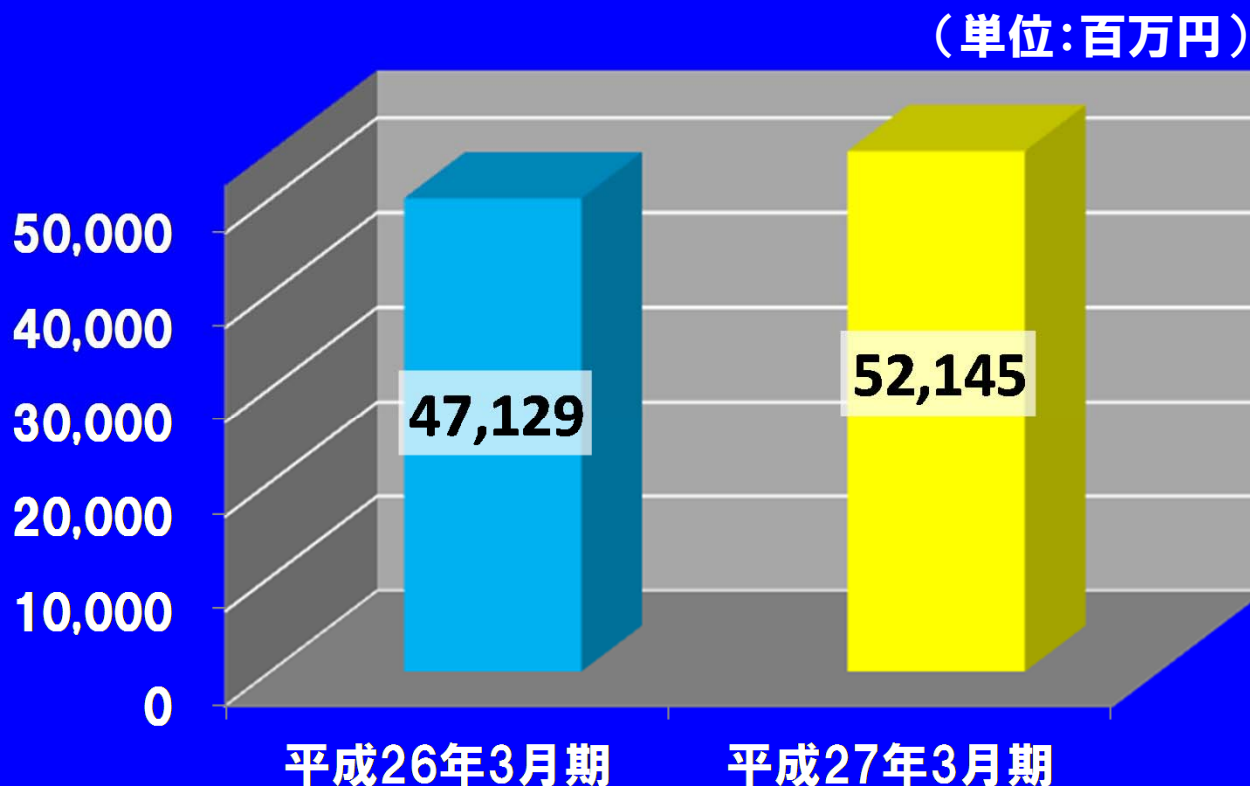
平成27年3月期の概況

●当社グループ(国内)

- 事業環境および負荷状況に応じ、
内部リソースを最大限に活用し、生
産効率および内製化率の向上を図る

平成27年3月期 連結売上高

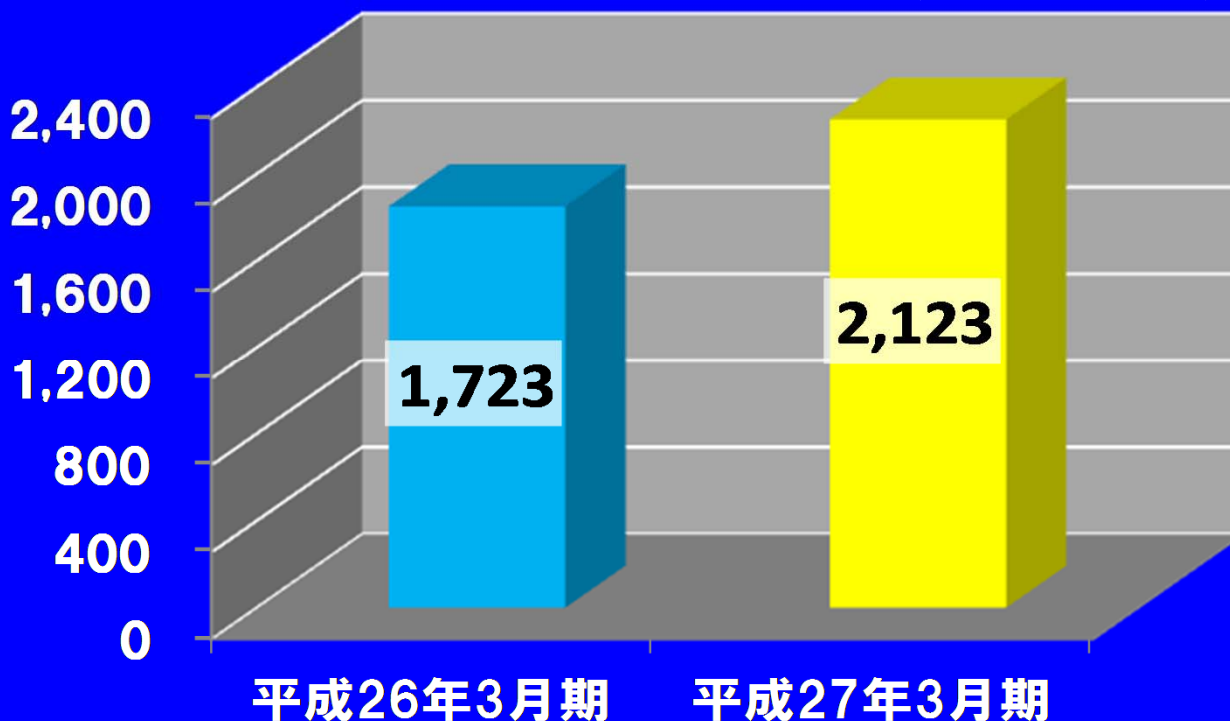
52,145百万円
(前期比 10.6%増)



平成27年3月期 連結営業利益

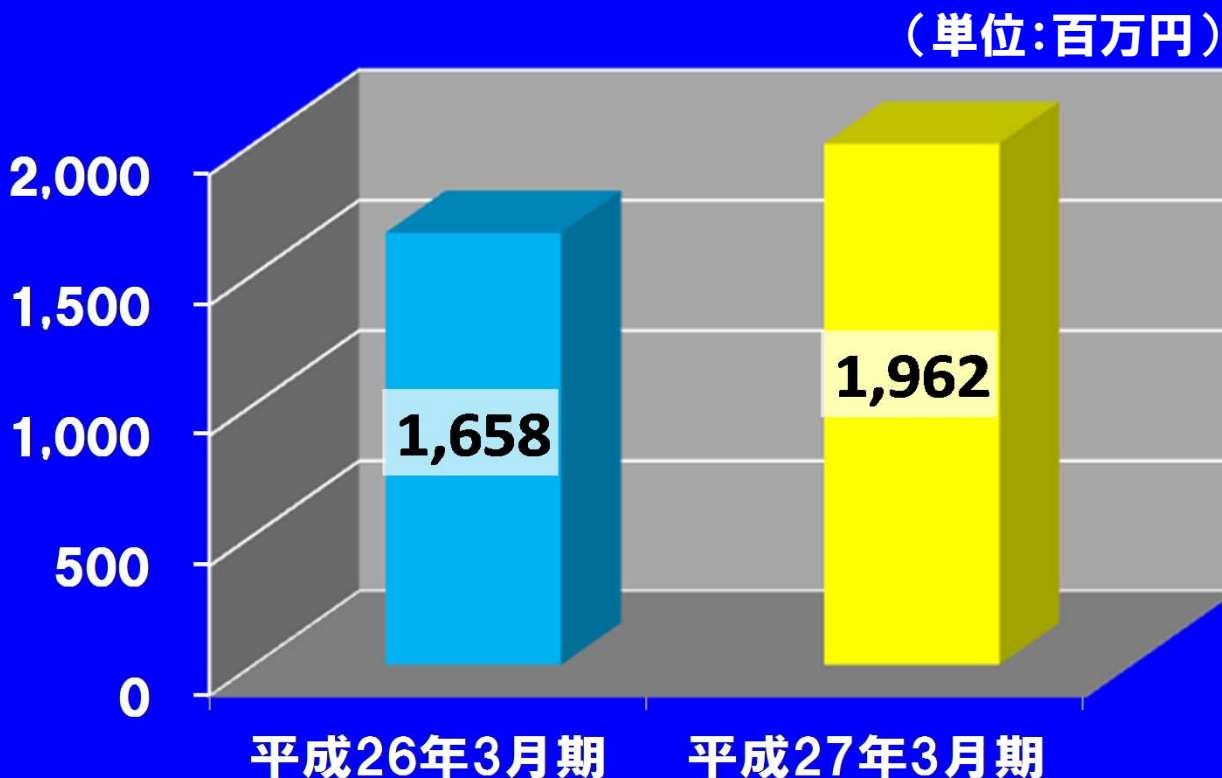
2,123百万円
(前期比 23.2%増)

(単位:百万円)



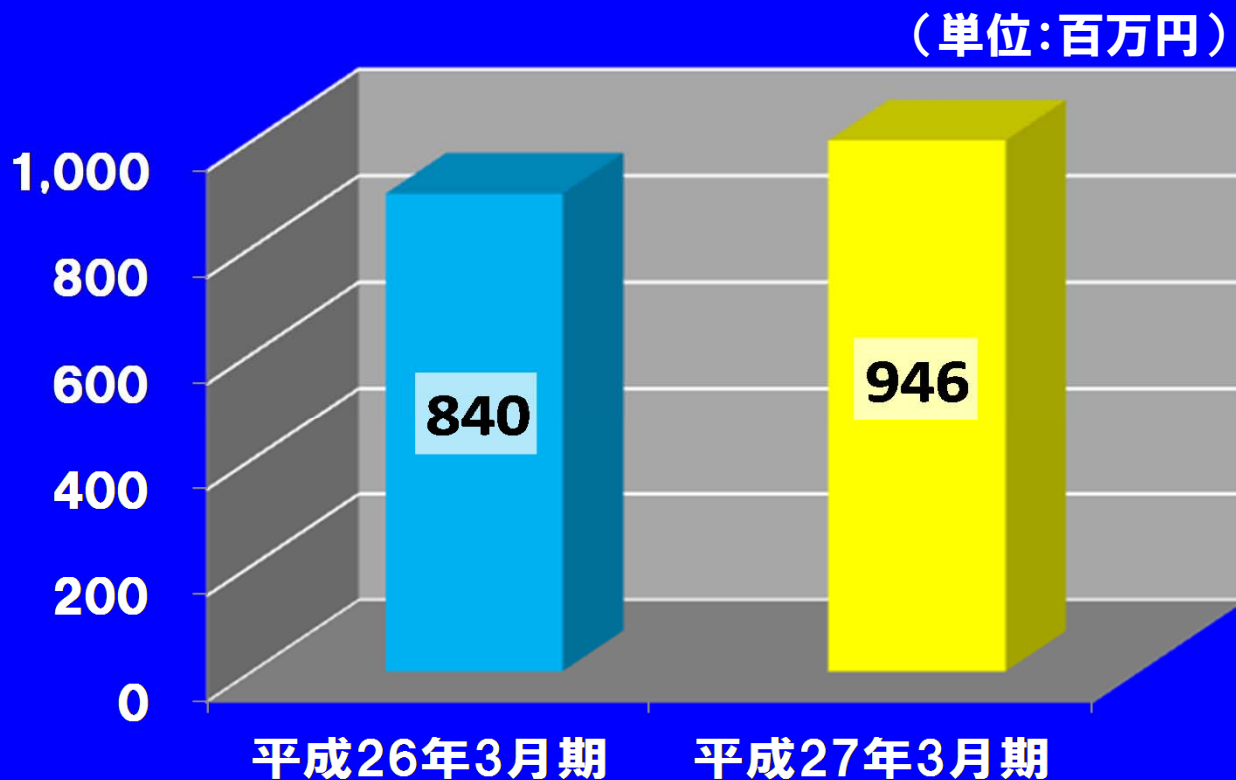
平成27年3月期 連結経常利益

1,962百万円
(前期比 18.3%増)



平成27年3月期 連結当期純利益

946百万円
(前期比 12.6%増)

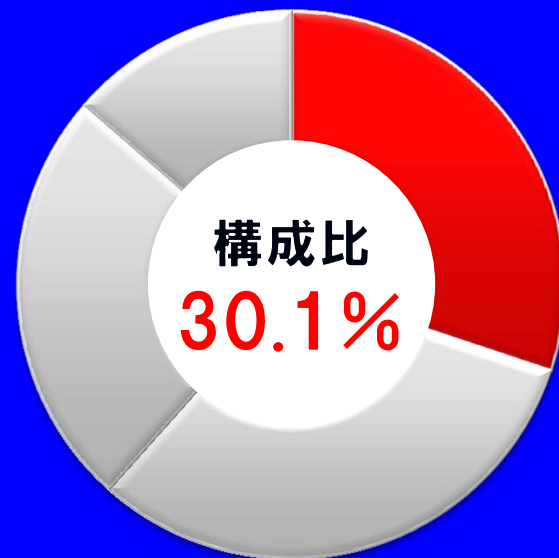


事業部門別の状況

自動車関連 生産設備事業

自動車関連生産設備事業

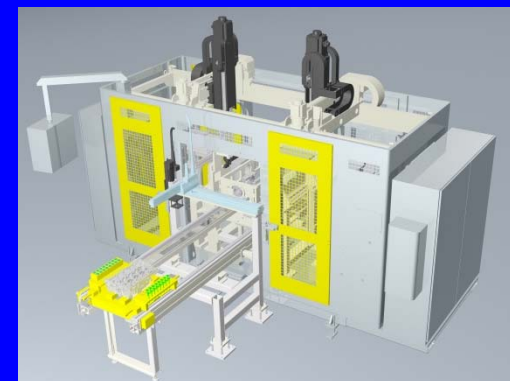
売上高 15,713百万円
前期比 20.4%減



オートマチックトランスミッションの
クラッチ組立装置



単体商品化された
エコ電動ストッパー

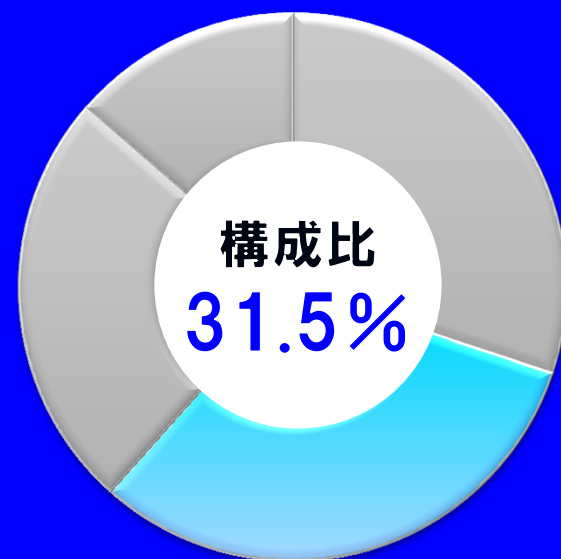


シリンダーヘッドの
バルブ組付装置

半導体関連 生産設備事業

半導体関連生産設備事業

売上高 16,402百万円
前期比 30.7%増



450mm EFEM
(Equipment Front End Module)



強化ガラス切斷システム

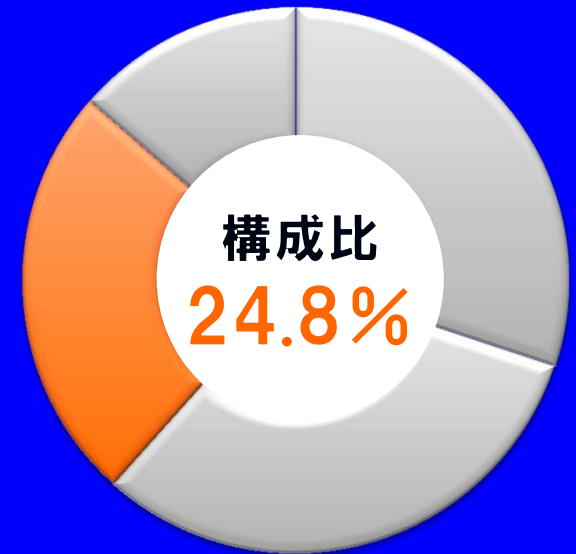


ウェーハ搬送ロボット

家電関連および その他生産設備事業

家電関連およびその他生産設備事業

売上高 12,916百万円
前期比 54.8%増



自動倉庫



家電の部品組立装置



モバイル組立装置

設備投資の状況

企業集団の設備投資の総額

総額 7億90百万円

熊本工場 大型工作機械 1億61百万円

建屋・機械装置 1億24百万円

国内工場

統合基幹業務システム ERP 57百万円

- ・ **資金調達**の状況
- ・ **事業の譲渡、吸収分割または新設分割**
の状況
- ・ **他の会社の事業の譲受け**の状況

- ・ **吸収合併または吸収分割による他の法人などの事業に関する権利義務の承継の状況**

- ・ **他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況**

につきましては、該当事項はございません。

- ・ **直前3事業年度の財産および損益の状況**
- ・ **重要な親会社および子会社の状況**

につきましては、

4ページから5ページをご参照ください。

6ページに記載しております、

- ・ 対処すべき課題**

につきましては、

後ほど詳細をご説明いたします。

- ・ **主要な事業内容**
- ・ **主要な営業所および工場**
- ・ **使用人の状況**
- ・ **主要な借入先の状況**
- ・ **その他企業集団の現況に関する重要な事項**

につきましては、

7ページから9ページをご参照ください。

会社の現況

- ・株式の状況
- ・新株予約権等の状況
- ・会社役員の状況
- ・会計監査人の状況
- ・業務の適正を確保するための体制
- ・会社の支配に関する基本方針

につきましては、

10ページから17ページをご参照ください。

連結貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

連結貸借対照表

資産の部

主要科目	金額(千円)	増減率
流動資産	42,033,918	+ 9.4%
固定資産	19,764,837	△ 0.9%
資産合計	61,798,755	+ 5.9%

連結貸借対照表

負債の部

主要科目	金額(千円)	増減率
流動負債	28,351,613	+ 5.2%
固定負債	11,582,173	△ 5.1%
負債合計	39,933,787	+ 2.0%

連結貸借対照表

純資産の部

主要科目	金額（千円）	増減率
資本金	2,633,962	—
資本剰余金	2,322,634	—
利益剰余金	11,352,927	+ 12.9%
その他の包括利益累計額	5,579,126	+ 29.6%
純資産合計	21,864,968	+ 13.9%
負債及び純資産合計	61,798,755	+ 5.9%

連結損益計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

連結損益計算書

主要科目	金額（千円）	増減率
売上高	52,145,406	+ 10.6%
営業利益	2,123,053	+ 23.2%
経常利益	1,962,026	+ 18.3%
当期純利益	946,787	+ 12.6%

- ・ **連結株主資本等変動計算書**
- ・ **貸借対照表**
- ・ **損益計算書**
- ・ **株主資本等変動計算書**

につきましては、

20ページから23ページをご参照ください。

- ・ **連結注記表**
- ・ **個別注記表**

**につきましては、今回より当社ウェブサイト
に掲載しておりますので、そちらにてご確
認ください。**

対処すべき課題について

対処すべき課題

1.グローバル化への取組み

2.国内市場の新規開拓・新規事業
への取組み

グローバル化への取組み

中国進出企業の工場が
内陸部へ移動

事業体制の見直し、拡大

グローバル化への取組み

東南アジア地域の市場拡大

子会社

インドネシア

タイ

営業拡大

現地、生産設備の
需要を取り込む

製造拠点として
生産を拡大

グローバル化への取組み

2014年移転し、4倍に拡張した
アメリカの子会社、デトロイト工場

生産体制の確立



画像 ©2014 Google,
地図データ ©2014 Google



画像 ©2014 DigitalGlobe,U.S.Geological Survey,USDA Farm Service Agency,
地図データ ©2014 Google

国内市場の新規開拓・事業への取組み

中期経営計画の一環として
生産システムの装置を
機能ユニットとして商品化し、販売

電動ストツパーなど



国内市場の新規開拓・事業への取組み

成長が見込まれる事業領域

従来 of 技術を活かした商品開発

国内市場の新規開拓・事業への取組み

営業部門を再編

**主要顧客が立地する
関東・関西での営業活動を強化**



Hirata

The Global Production Engineering Company